

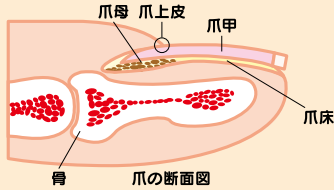


爪の病気

爪は皮膚の一部です。
髪の毛と同じ硬ケラチン蛋白でできています。
爪の異常に気づいたら、まず皮膚科専門医を受診して下さい。

爪の特徴

爪は生きた細胞ではなく、血管や神経は存在しません。そのため、ダメージを受けて変形した爪は修復されることはありません。新しい爪に生え変わることで元の形にもどります。爪は1日およそ0.1mmしか伸びませんので、入れ替わるまでに手で4ヵ月、足で6ヵ月かかります。爪の変化から、過去の病気を類推したり、全身性の疾患が見つかることもあります。



1. 外的刺激



2. 爪甲鉤弯症



加齢、けが、靴の圧迫、水虫などにより変形します

3. 感染によるもの



陥入爪、巻き爪の治療



陥入爪予防のため、足の爪を正しく切りましょう

- ①入浴後の柔らかいときに切る
- ②深爪しない
- ③爪先の白い部分を少し残す
- ④四角い形に切る

巻き爪予防5箇条

- ①サイズの合った靴を選ぶ
大きすぎる靴もダメです
- ②靴紐は履くたびにきちんと絞め直す
- ③ゆび先に力が加わるように歩く
そのためには歩幅を広げにする
- ④深爪は厳禁
- ⑤ハイヒールは避ける

4. 良性腫瘍

いろいろな病気があります



5. 悪性腫瘍



6. 内科的疾患に伴うもの



7. 皮膚病によるもの



8. 先天異常



いい ひふ
11月12日は皮膚の日です